



Information

2017.7

Vol. 76

特集

# 日本気象協会の最新事業のご紹介

Contents1

商品需要予測事業

Contents2

NEDO「ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト」に  
日本気象協会の「ドローン向け気象情報提供機能の研究開発」が採択

Contents3

「熱中症ゼロへ」プロジェクト環境省主催「7月の熱中症予防強化月間」イベントを運営  
～全国3カ所で熱中症啓発活動を今年も実施～



福島県耶麻郡北塩原村 五色沼

その「もったいない」を気象が解決します

# 商品需要予測事業



「需要予測の精度向上・共有化による省エネ物流プロジェクト（経産省補助事業）」を事業化しました。

気象予報会社と「もったいない」。

一見、関係ない二つの単語のように見えますが、実は大いに関係があることをご存じでしょうか。

日本気象協会は、自社の事業領域である「気象予測」の技術を、社会活動活性化と持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けて、商品需要予測という形で提供しており、2017年4月1日から「商品需要予測事業」として事業化しました。現在、商品需要予測の技術は企業の「食品ロス削減」の取り組みに対して、おおいに貢献しています。

「気象」というものについて、皆さんはどのように感じていらっしゃいますか？じつは「気象」とは、物理学的に将来を予測できるものなのです。

世界の全産業の3分の1は「何らかの気象によるリスクを抱えている」といわれています。近年は異常気象の度合いが増えつつありますが、気象予測の精度はこの15年で30%も向上しているのです。精度の向上により、将来を予測することができる精度も向上してきています。

産業のリスクを軽減するために、気象はもっと役立ちます。

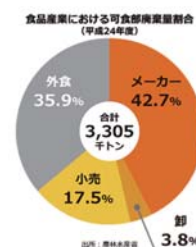
日本気象協会はこの、物理学的に将来を予測する「気象」の技術を産業に応用することで、「もったいない」を削減することに貢献していきます。

日本気象協会は、「気象」を軸にさまざまな企業をつなぐ「ハブ」となり、持続可能な社会の実現を目指していきます。



食品業界では、「食品ロス」が大きな課題となっています。日本の「食品ロス」は世界の食料援助量の約2倍ともいわれ、その内訳はメーカー（製）で42.7%、卸売事業者（配）

で3.8%、小売事業者（販）で17.5%。「食品ロス」の半数以上は、家庭ではなく流通の過程で発生しています。また年間の返品額は約1691億円におよび、返品・返送・廃棄の過程でも二酸化炭素が発生しています。気象のビッグデータと商品データをかけあわせれば、この「もったいない」は減らせます。



## 効率的な物流でサプライチェーンの最適化へ 高精度需要予測で食品ロス削減

日本気象協会の商品需要予測事業では、各企業の商品と気象の関係性を分析します。これらに、気温による消費者の感覚や心理変化を数値化した「体感気温」や、どのような経緯をたどってその気温になったかという「実効気温」を加味し、予測精度を向上します。この需要予測を個社で導入し企業のオペレーションを変えた結果、日配品である「寄せ豆腐」の食品ロスを約30%削減、季節商品の「冷やし中華つゆ」の食品ロスを約20%削減することができました。

## 気象情報を活用し輸送方法を転換することでCO<sub>2</sub>削減

トラック輸送から海上輸送に転換する「モーダルシフト」が推進できる理由は、従来は1週間先までしかできなかった気象予測が、2週間先まで高精度で予測できるようになったからです。これにより、輸送計画と輸送量を早期に決定できるようになりました。また航海ごとに最適な航路の情報も提供することで燃料の消費を抑え、運送時の二酸化炭素排出量を約48%削減しました。「モーダルシフト」の推進は、近年問題となっているトラックドライバー（運転手）の人材不足の解消にも貢献します。



このサービス・商品に関する詳細につきましては、下記、ホームページまで。

<http://www.jwa.or.jp/project/project463/index.html>

## Contents2

2017.05.16発表

## NEDO「ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト」に 日本気象協会の「ドローン向け気象情報提供機能の研究開発」が採択

日本気象協会は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が公募した「ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト」にて、「ドローン向け気象情報提供機能の研究開発」(以下、「本研究」)を応募し、採択されましたことをお知らせします。

### ◆研究概要

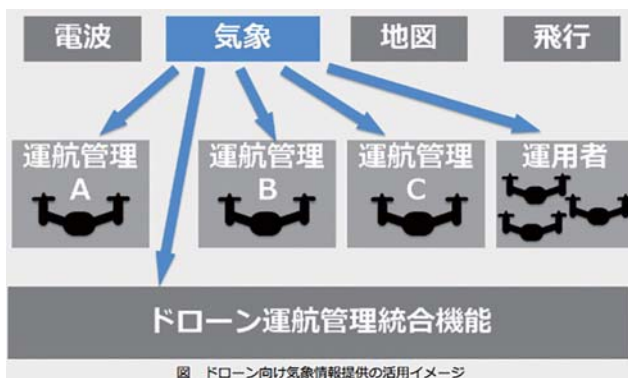
ドローン(UAV:無人航空機)を「物流、インフラ点検、災害対応」などの分野で活用を進めるためには、ドローンの安全飛行を妨げる突風や豪雨、雷、霧などのさまざまな気象現象を、より詳細かつ正確に把握し、予測することが重要です。

日本気象協会は、ドローンが飛行する高度100～200mの気象現象を「把握」・「予測」する技術と、ドローン向け気象情報を「提供」する技術を開発します。この情報を、ドローン運航管理システムやドローン運用者が利用することで、安全で効率的なドローンの運航を実現します。

日本気象協会はドローン向け気象情報提供機能の開発で、ドローンが普及し活躍する社会の実現に貢献していきます。

### ◆研究期間

平成29年度～平成31年度(予定)



このサービス・商品に関する詳細につきましては、  
下記、ホームページまで。

<http://www.jwa.or.jp/news/2017/05/post-000844.html>

## Contents3

2017.06.08発表

## 「熱中症ゼロへ」プロジェクト環境省主催『7月の熱中症予防強化月間』イベントを運営 ～全国3カ所で熱中症啓発活動を今年も実施～

日本気象協会が推進する「熱中症ゼロへ」プロジェクトは、環境省が主催する『7月の熱中症予防強化月間』啓発イベントを全国3カ所(東京・金沢・福岡)で運営します。

### 【「熱中症ゼロへ」3都市でイベント】

環境省とコラボし、熱中症対策を学ぶパネル展示や熱中症の予防対策グッズの抽選会などのイベントを開催します。

- 7月 8日(土) 福岡:福岡天神イムズ
- 7月15日(土) 金沢:金沢駅もてなしドーム
- 7月23日(日) 東京:ソラマチひろば

※開催時間はいずれも11:00～15:00頃

(配布物がなくなり次第終了)。

※7月8日・23日が雨天の場合は順延または中止

今年も5月1日～5月28日までの累計で2,613人が熱中症により搬送されているという現状があります(5月28日速報値、総務省消防庁発表)。「熱中症ゼロへ」プロジェクトでは、本イベントを通して、より多くの方に熱中症予防の重要性を啓発することを目指します。また、環境省との取り組みの一環として各種スポーツ競技団体に協力いただき、夏季のスポーツイベントで対策リーフレットを配布します。選手だけでなく、イベント運営スタッフ、観客にも積極的に熱中症対策を呼びかけていきます。



環境省  
Ministry of the Environment



熱中症ゼロへ。



プロジェクトの内容やイベントの詳細などにつきましては、下記、ホームページまで。

<http://www.jwa.or.jp/news/2017/06/post-000859.html>

5月

- 2017.05.30 全国各地のクールビズ事情を調査 クールビズ実施率は約6割!  
最も実施率が低いのは東北地方、高いのは関東・甲信地方 tenki.jpラボvol.12クールビズに関するアンケート調査
- 2017.05.17 熱中症ゼロへプロジェクト 公式ツールの法人・団体向け販売を開始  
～新たな公式ツールとして「子ども向け/シニア向けの熱中症対策リーフレット」を追加～
- 2017.05.16 NEDO「ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト」に  
日本気象協会の「ドローン向け気象情報提供機能の研究開発」が採択
- 2017.05.10 2017年桜開花予想(第12回) ～桜前線はゴール間近! 道東は桜の季節へ～
- 2017.05.02 2017年桜開花予想(第11回) ～ゴールデンウィーク 北海道のお花見は夏の装いで～

4月

- 2017.04.26 2017年桜開花予想(第10回) ～いよいよ桜前線は北の大地へ～
- 2017.04.25 日本気象協会「熱中症ゼロへ」プロジェクト「熱中症セルフチェック」を新たに開発  
～年代・活動内容・現在いる場所の環境に応じた「自分だけ」の熱中症情報を提供～
- 2017.04.25 日本気象協会 ゴールデンウィーク(GW)の日々の天気を発表 ～ 29日(土)から5月2日(火)は天気の急変にご注意ください～
- 2017.04.24 日本気象協会、登山者向け気象情報アプリ「tenki.jp登山天気」をリリース  
～日本三百名山を対象に登山ルートに沿った時系列天気予報を提供～
- 2017.04.19 ～文部科学省「次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト」～  
ドローン(UAV:無人航空機)を活用し、鹿児島県・桜島で高層気象観測  
日本気象協会と京都大学防災研究所が共同調査 火山周辺における地上1000mまでの風向や風速、気温などを計測
- 2017.04.19 2017年桜開花予想(第9回) ～東北北部は本格的なお花見シーズンに～
- 2017.04.18 日本気象協会 ゴールデンウィーク(GW)の天気傾向を発表 ～関東から九州を中心に、お出かけ・レジャーに適した日が多い～
- 2017.04.12 17年桜開花予想(第8回) ～桜前線は東北南部へ到達 今週末には東北北部へ～
- 2017.04.11 日本気象協会「トクする!防災」プロジェクト監修『ローリング&ストック・バッグ』を発表  
～「食べた分だけ、使った分だけ買い足す」『ローリングストック』を気軽に実践～
- 2017.04.11 日本気象協会「トクする!防災」プロジェクト 2017年度の活動開始  
～「ローリングストック」などの普段からできる防災アクションを啓発～
- 2017.04.05 2017年桜開花予想(第7回) ～続々と開花の便りが到着! 週末にかけて桜前線が東北南部へ

## 季節のことは(夏)

一般財団法人 日本気象協会では、平成23年(2011年)2月より、現代の季節感にあう「新しい季節のことは」を提案するための取り組みを行ってまいりました。

平成25年(2013年)の春、「季節のことは36選」を選定しました!

「季節のことは36選」はホームページ「暦の上では」やJWAカレンダーなどで紹介しています。

6月/あじさい、梅雨、蛭舞う

7月/蝉しぐれ、ひまわり、入道雲、夏休み

8月/原爆忌(広島と長崎)、流れ星、朝顔

「暦の上では」ホームページ <http://24setuki.com>

## アプリのご紹介

## tenki.jp登山天気「山頂やルートの天気がわかるアプリ」

tenki.jp登山天気は、日本気象協会公式の山の天気予報アプリです。当日の天気予報や雷危険度などがひと目で確認できます。また、ふもとから山頂まで、標高別にわかる天気予報や登山にオススメの服装のお知らせなど、登山者には必須のアプリです。



※1カ月毎の自動更新によるアプリ内課金をご利用いただけます。課金開始日から30日間は無料でお試しください。

※気象業務法の観点から不特定多数の方に公開することが出来ない情報も含まれているため、特定の利用者様にお届けする有料アプリとしてリリースしています。

一般財団法人 日本気象協会



<http://www.jwa.or.jp>

<http://www.tenki.jp>

本社	〒170-6055	東京都豊島区東池袋3丁目1番1号サンシャイン60 (55階)
北海道支社	〒064-8555	札幌市中央区北4条西23丁目1番18号
東北支社	〒982-0841	仙台市太白区向山4丁目20番14号
中部支社	〒462-0042	名古屋市中区水草町1丁目21番5号
関西支社	〒542-0081	大阪市中央区南船場2丁目3番2号南船場ハートビル (15階)
九州支社	〒814-0002	福岡市早良区西新一丁目10番27号西新プライムビル (6階)

電話 (03) 5958-8111	FAX (03) 5958-8113
電話 (011) 622-2230	FAX (011) 640-2383
電話 (022) 216-4181	FAX (022) 216-4188
電話 (052) 912-1111	FAX (052) 911-0117
電話 (06) 6266-8420	FAX (06) 6266-8430
電話 (092) 833-8721	FAX (092) 833-8722